

個別施設計画書

1. 計画全体の方針

1-1. 老朽化対策における基本方針

① 長寿命化修繕計画の目的

大多喜町は、橋梁長寿命化修繕計画及び直近の橋梁定期点検結果に基づき、事業実施成果の検証と予防保全段階からの必要な措置及び長寿命化計画に基づく予防保全型管理を検討することで、予算の平準化及び維持管理コストの縮減を行うことを目的とするものである。

② 対象施設

大多喜町が管理する橋梁（※「2. 個別の構造物ごとの事項」に示す全 76 橋）

③ 計画期間

2025 年～2029 年までの 5 年間とする。

④ 個別施設の老朽化の状況

いくつかの橋梁では築造後 50 年以上が経過しており、一部で速やかな補修等対策を要する損傷が見られる。

⑤ 対策の優先順位の考え方と目標

点検による健全度判定に加え、交通量、緊急輸送路（1 次・2 次・非該当）、道路種別（1 級・2 級・その他）、観光道路（観光地アクセス）、行政境道路、生活用道路（バス路線、通学路、公共施設アクセス、限界集落・孤立集落アクセス）、補修要望といった評価指標を点数化し、これらを勘案して、対策優先順位を決定する。このことにより、構造物としての性能を一定水準以上保持することを目標とする。

1-2. 新技術の活用方針

(1) 新技術等の活用に関する取組み方針

国土交通省では戦略的に新技術の開発に取り組んでおり、インフラの点検・診断を中心にこれらを活用した効率的・高度化された点検手法等が広まり始めている一方、新たに開発された有用な技術が維持管理の現場における問題解決に活かされていない場合が多い。

国土交通省が策定した「国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）／令和3年度～令和7年度」（R3.6、以下「行動計画」）では、重点的に実施すべき取組の1つとして、新技術・官民連携手法の導入促進等の推進を挙げている。

Ⅱ. 新技術・官民連携手法の普及促進等によるメンテナンスの生産性向上の加速化

多くのインフラを管理する一方、メンテナンスに携わる人的資源が不足している地方公共団体等が適切かつ効率的なインフラメンテナンスを実施していくため、新技術や官民連携手法の導入促進など、メンテナンスの生産性向上に資する取組の推進を加速化する。

「国土交通省インフラ長寿命化基本計画（行動計画）」（R3.6）P.28 より抜粋

また、政府が制定した「基本計画」（H25.11）では、新技術等の導入促進に関し、将来的に戦略的な維持管理・更新等を行うべく、以下3つの目標設定とその達成に向けたロードマップを明示した。

1. 未成熟の維持管理・更新に係る技術（メンテナンス技術）の基盤強化を図るとともに、将来にわたって安全で強靱なインフラを維持・確保するためのシステムを構築することで、国土の脆弱性に対応した「安全で強靱なインフラシステムを構築」する。
2. 時代とともに変化する社会の要請に的確に対応し、かつ将来必要な人材の確保・育成も含めた戦略的な維持管理・更新等を行うべく、トータルコストの縮減や予算の平準化を図ることで持続可能で活力ある未来を実現する「総合的かつ一体的なインフラマネジメント」を行う。
3. 世界最先端の技術に支えられた安全で強靱なインフラを維持・確保するシステムを、我が国はメンテナンス産業として発展していくことが重要である。研究開発の推進によるイノベーションの創出や市場の整備、国際展開等の取組を通じ、「メンテナンス産業によるインフラビジネスの競争力強化」を実現する。

「インフラ長寿命化基本計画」（H25.11）P.2～3 より部分抜粋、適宜要約

大多喜町では、橋梁の管理における上記1～3.の目標実現に向けた取組の1つとして、定期点検や修繕等での「新技術等の導入」を積極的に推進する。新技術等の活用の効果として、維持管理・更新等に係る費用の低減を図りつつ、目視等のこれまでの手法で確認困難であった損傷箇所等へ対しても的確に点検・診断・対処が可能となる。

大多喜町の橋梁維持管理事業で、新技術等の活用に関する検討にあたっての基本方針を、以下に整理する。

- 1) 検討を行う対象施設は、管理している全ての橋梁とする。
- 2) 「点検・診断」で活用する新技術等は、主に「点検支援技術性能カタログ(案)」に掲載している技術（画像計測技術、非破壊検査技術、計測・モニタリング技術等）を対象とする。近接目視と同等以上の効率化・高度化・コスト縮減等の観点から、対象施設への適用性を判定する。
- 3) 直近の定期点検で採用した点検手法を新技術等に代えた場合での活用効果が、品質面やコスト面等で従来手法を上回ることが明らかに困難である場合は、上記2)の判定を行う対象施設とはしない。この場合の従来手法は、「地上からの作業、梯子・脚立等の使用、汎用タイプの高所作業車（例：リフト車、積載質量200kgまでの橋梁点検車）の使用」による点検・診断を指す。
- 4) 「措置（：主に監視、修繕）」で活用する新技術等は、主に「NETIS 新技術情報提供システム」及び「点検支援技術性能カタログ(案)」に登録・掲載している工法・材料を対象とする。性能向上や措置の省力化、コスト縮減等の観点から、従来工法・材料と比べて上回った採用効果が期待出来る新技術等を抽出して、対象施設への適用性を判定する。
- 5) 上記4)の判定を行う対象施設は、直近の定期点検の結果より修繕等を必要と判断した（健全性診断の判定区分がⅢである）橋梁とし、これらに対して優先して検討する。
- 6) 上記2)～5)の検討では、本計画での数値目標として、今後5年間（令和7年度～令和11年度）でのコスト縮減率（新技術等活用による縮減総額／従来方法での総費用）を設定する。
- 7) 本計画で提案した新技術等の採用にあたっては、経済・施工・品質等の観点から従来方法や策定後に発出した技術等との詳細な比較検討を行い、発注者との協議を経て採用の是非を決定する。

(2) 対象施設での適用性

本計画の対象 75 橋梁に対し、「点検・診断」「措置（監視、修繕）」における新技術等の活用について検討を行った。なお、検討の詳細な内容は後述する根拠資料に示す。

1) 点検・診断業務

表 1. 短期計画における点検対象橋梁と新技術適用検討

番号	路線名	施設名	延長 (m)	全幅員 (m)	橋面積 (㎡)	ドローン技術		ロボット技術	
						適用性	コスト縮減	適用性	コスト縮減
6	町道増田小土呂線	桐木橋	16.1	7.7	123.6	×	×	×	×
7	町道船子峯之越線	上瀑橋	75.0	10.8	806.3	○	○	○	×
8	町道田代中野線	沢田橋	24.8	6.2	153.8	○	×	○	○
9	町道増田小土呂線	清水橋	15.7	4.6	72.1	○	×	○	○
12	町道紺屋横山線	白山橋	15.6	5.1	79.7	×	×	×	×
15	町道上原西部田線	深瀬橋	71.4	11.0	785.4	×	×	×	×
16	町道小谷松西部田線	川島橋	17.0	3.8	64.6	×	×	×	×
17	町道中野大多喜線	井戸川橋	16.0	9.4	150.4	×	×	×	×
18	町道新丁行徳線	行徳橋	72.0	11.0	791.6	×	×	×	×
19	町道部田堀之内線	塩渕橋	50.3	3.6	180.9	×	×	×	×
23	町道石神大戸線	下川橋	56.8	4.7	268.3	×	×	○	○
25	町道石神大戸線	大戸橋	7.0	4.5	31.5	×	×	×	×
28	町道三育学院線	荒木根橋	69.8	6.0	419.0	×	×	○	×
29	町道三又297号線	三又大橋	68.7	11.0	755.7	×	×	×	×
30	町道黒原佐野線	不動橋	60.0	4.3	258.0	○	×	○	○
31	町道黒原上野線	笛倉橋	40.0	6.3	252.0	○	×	×	×
32	町道保庭線	保庭橋	54.1	3.7	200.1	○	×	○	○
35	町道平塚百鉢線	百鉢橋	25.0	3.5	87.5	×	×	×	×
37	町道黒原上野線	押沼橋	13.6	6.1	82.7	○	×	○	○
38	町道紙敷弥七谷線	柵ノ木橋	13.2	4.1	53.3	×	×	×	×
39	町道中野大多喜線	紙敷橋	27.9	8.2	228.7	×	×	×	×
40	町道堀切牛久線	御行橋	9.1	3.6	32.8	○	×	○	○
41	町道松尾紙敷線	松尾橋	40.0	8.0	320.0	×	×	×	×
45	町道黒原上野線	平沢橋	53.7	6.1	327.3	×	×	×	×
46	町道黒原上野線	深川橋	35.1	6.5	227.8	○	×	×	×
48	町道弓木平沢線	有池娜思橋	20.0	7.0	140.0	×	×	×	×
49	町道弓木平沢線	奥有池娜思橋	5.3	6.9	36.6	○	×	○	○
50	町道黒原上野線	栄橋	11.5	6.8	78.2	○	×	○	○
58	町道葛藤筒森線	共榮橋	35.0	4.5	158.2	×	×	×	×
64	町道会所線	会所橋	15.5	4.6	70.6	○	×	×	×
65	町道上原桑曾根線	桑曾根橋	51.8	6.0	310.8	○	×	○	×
66	町道松尾宇筒原線	新船塚橋	40.0	9.2	368.0	×	×	×	×
67	町道老川線	老川橋	27.0	6.0	162.0	×	×	×	×
68	町道森宮田代線	田代橋	93.8	6.7	631.1	×	×	×	×
69	町道鷺巣南線	鷺巣橋	67.0	6.2	415.4	○	×	×	×
70	町道西部田打越線	獅子ヶ口橋	129.0	5.7	735.3	○	×	×	×
71	町道西部田打越線	柳堀橋	77.6	5.7	442.2	○	×	○	×
74	町道中堀線	中堀橋	20.6	5.2	107.1	○	×	○	○
75	町道中堀線	大渕橋	14.0	5.2	72.8	○	×	○	○
76	町道平沢小川線	広野橋	44.6	5.7	254.2	×	×	×	×

記号凡例

「○」: 適用可能
「△」: 条件付きで適用可能
「×」: 適用不可
「-」: 適用検討の必要なし

目標の設定（点検）

- 管理対象の全76橋梁のうち、既存手法による点検に課題ありとした40橋を本計画における新技術活用の検討対象とした。
- 上記40橋のうち、コスト縮減が可能な12橋について、点検1回あたりの縮減額を1,053千円（直接費376千円）と試算した。

※ドローン技術による縮減額：10千円（400千円×2.6%×1橋）、

ロボット技術による縮減額：1,043千円（400千円×23.7%×11橋）

- 次回点検は令和7年から令和11年度にかけて実施する。

2) 措置（監視・修繕業務等）

表 2. 短期計画における補修対象橋梁と新技術適用検討の有無

番号	路線名	施設名	延長 (m)	補修計画(2025-2029)			
				詳細 調査 年度	補修 工事 年度	主要な対策工	新技術 適用検討 の必要性
						工種名	
6	町道増田小土呂線	桐木橋	16.1	2027	2029	主部材：塗装工	有り
						下部工：表面被覆工	無し
						下部工：ひびわれ注入工	無し
						下部工：断面修復工	有り
17	町道中野大多喜線	井戸川橋	16.0	2027	2029	主部材：塗装工	有り
19	町道部田堀之内線	塩渕橋	50.3	2024	2026	主部材：補強工	無し
45	町道黒原上野線	平沢橋	53.7	2027	2029	主部材：塗装工	有り
61	町道折倉線	折倉橋	16.6	2027	2029	主部材：塗装工	有り

目標の設定（修繕等）

- 管理対象の全76橋梁のうち、短期計画の期間において補修工事を予定する5橋を検討対象とした。
- 想定される対策工について、既存技術およびNETISに記載された新技術を比較検討した結果、縮減額を23,615千円（直接費8,434千円）と試算した。
- 修繕は短期計画に則り、令和7年度から11年度にかけて実施を予定する。

3) 数値目標

新技術等の活用に関して、前述で掲げた取り組み方針に基づいて実行するにあたって、短期的に掲げる数値目標は下記のとおりとする。

- 令和11年度までに、大多喜町が管理する76橋梁を対象として、修繕等（監視を含めた「措置」全体を指す）での「新技術等の導入」を積極的に推進するための検討を行い、2割程度（16橋、21.1%）の橋梁で費用の縮減や事業の効率化等の効果が見込まれる新技術の活用検討を行うことにより、費用を9%程度（点検診断および措置における縮減合計額24,668千円※¹、令和7年度～令和11年度の予算総額※²に対して9.5%）費用縮減することを目標とする。

※1 点検診断における縮減額：1,053 千円、措置における縮減額：23,615 千円(税抜)

※2 令和7年度～令和11年度の点検診断および措置における予想総額：260,730 千円(税抜)

（措置における予想費用：188,266 千円

点検診断における予想費用：30,000 千円(400 千円/橋・回×75 橋※³×1 回)

長寿命化修繕計画策定における費用：7,600 千円

補修設計における予想費用：34,864 千円)

※3 R7 年度に 33_滝見橋の撤去を予定しているため、点検橋梁数を 76 橋→75 橋としている。

新技術等の活用に係るコスト縮減検討 根拠資料

1-3. 費用の縮減に関する具体的な方針

(1) 中長期的視点に立ったトータルコストの縮減を図るための基本方針

市町村を主とする地方自治体では、厳しい財政状況下で必要なインフラの機能を維持していくために、中長期的なトータルコストの縮減や予算の平準化を図る必要がある。

国土交通省が策定した「国土交通省インフラ長寿命化計画（行動計画）／令和3年度～令和7年度」（R3.6、以下「行動計画」）では、重点的に実施すべき取組の1つとして、インフラの集約・再編等の推進を挙げている。

Ⅲ. 集約・再編やパラダイムシフト型更新等のインフラストック適正化の推進

社会情勢の変化や利用者ニーズ、将来のまちづくり計画等を踏まえたインフラの集約・再編や、機械設備の耐用年数の到来など来るべき大更新時代に備えた更新時のパラダイムシフトの検討など、インフラストックの適正化に向けた取組を推進する。

「国土交通省インフラ長寿命化基本計画（行動計画）」（R3.6）P.28 より抜粋

また、具体的な実行策として、政府が制定した「基本計画」（H25.11）では、以下の3つを挙げている。

1. インフラ（本計画では「橋梁」）の長寿命化を図り、大規模な修繕や更新を出来るだけ回避することが重要であることから、損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施することで、機能の保持・回復を図る「予防保全型維持管理」の導入を推進する。
2. インフラの新設・更新時には、維持管理が容易かつ確実に実施可能な構造を採用するほか、修繕時には利用条件や設置環境等の各施設の特性を考慮するなど、合理的な対策を選択する。
3. 今後、グローバルな都市間競争や、人口減少、少子高齢化、地球温暖化等の進展を見込んでいく中で、インフラに求める役割や機能も変化していくものとする。このため、老朽化の対策の検討にあたっては、その時点で各施設（橋梁）が果たしている役割や機能を再確認したうえで、その施設の必要性自体を再検討する。検討の結果、必要性を認めることができる施設については、更新等の機会を捉えて社会経済情勢の変化に応じた質的向上や機能転換、用途変更や複合化・集約化を図る一方、必要性を認められない施設については、廃止・撤去を進めるなど、戦略的な取組を推進する。

「インフラ長寿命化基本計画」（H25.11）P.4 より部分抜粋、適宜要約

(2) 集約化・撤去の対象検討

架橋状況等を考慮した結果、下記橋梁については延命させない（管理型：E グループ）こととして長寿命化修繕計画が作成されている。

橋梁名	管理方針	対応方針	理由
10.船子跨線橋	延命させない	・大規模補修は行わず、寿命が来たら撤去	・橋梁先に民家が少ない。 ・車両通行可能な迂回路があり、影響が小さい。
34.小内橋	延命させない	・大規模補修は行わず、寿命が来たら撤去	・潜水橋のため、流木が堆積しやすい。 ・車両の通行がほとんどなく、影響が小さい。
33.滝見橋	廃止	・撤去設計を 2023 年、撤去作業を 2025 年に実施する。	・橋梁の損傷が激しく、取水堰上にあり補修しにくい。 ・廃止されても迂回路があり、影響が小さい。
51.滝部田橋	廃止	・撤去設計を 2025 年、撤去作業を 2027 年に実施する。	・橋梁自体の損傷が激しく、現状で通行止めである。 ・迂回路があり、影響が小さい
55.道持原橋	廃止	・撤去設計を 2025 年、撤去作業を 2027 年に実施する。	・橋梁の損傷が激しく、車道幅員が狭い。 ・廃止されても迂回路があり、影響が小さい。

上記の 5 橋の撤去による費用の縮減額を以下の考えに則って算定した。

- ・ 中長期(50 年間)の期間内において、橋梁の廃止によって実施機会を失った定期点検や修繕に関する費用をコスト縮減額とする。
- ・ 延命させない 2 橋の廃止時期は定期点検で健全度Ⅳと診断された時点と仮定する。時期は劣化曲線の設定を基に、最新の定期点検における主要部材の健全度が最も早く健全度区分 E(Ⅳ)に到達する年度とした。

1) 定期点検に関するコスト縮減額

劣化予測の結果、延命させない 2 橋が健全度Ⅳ相当の状態に到達するのは、10. 船子跨線橋が 2035 年度、34. 小内橋が 2045 年度であった。そのため、2039 年度と 2045 年度の定期点検でそれぞれ健全度Ⅳに判定され、次回以降は点検対象から除外されるものと仮定する。

2022 年から 2071 年までの 50 年間において、廃止以降に実施が省略される定期点検の回数と費用は以下の通りとなる。

番号	施設名	橋面積	管理方針	廃止予定時期 (廃止予測時期)	廃止以後に省略される 定期点検費用	
					省略される 点検回数	省略される 点検費用(千円)
10	船子跨線橋	23.6	延命させない	2039年	6回 (2044年度～ 2069年度)	2,400
34	小内橋	72.7	延命させない	2045年	5回 (2050年度～ 2070年度)	2,000
33	滝見橋	174.1	廃止	2025年	10回	4,000
51	滝部田橋	53.5	廃止	2027年	9回 (2025年度～ 2070年度)	3,600
55	道持原橋	86.5	廃止	2027年	9回 (2025年度～ 2070年度)	3,600
					計	15,600

2) 修繕に関するコスト縮減額

上記の 5 橋梁は、現時点ですでに延命措置の対象外としているため、集約化・撤去に伴う修繕コストの縮減は発生しないものとする。

3) 数値目標

1), 2) の検討結果より、中長期的視点に立ったトータルコストの縮減に関し、本計画で短期的に掲げる数値目標は下記のとおりとする。

なお、集約化撤去の実現に向けては、迂回路整備や周辺住民との合意形成といった課題を解決していく必要があることから、短期的な目標の設定が困難であり、コスト縮減効果の中長期（50 年間）で確認することが妥当であると判断した。ただし、本計画では短期的なコスト縮減効果の目安として、短期計画における期間で換算した縮減額を併せて記載することとした。

- 令和 11 年度までに、大多喜町が管理する橋梁のうち 5 橋を対象として、市道の廃止に向けた迂回路整備等の検討を、社会経済情勢や施設の利用状況の変化、施設周辺の道路整備状況、点検・修繕・更新等に係る中長期的な費用等を考慮し実施することを目標とする。
- 上記の実施に伴い、中長期(50 年間)におけるトータルコストを 0.8%程度(50 年間の維持管理費用の総額※)に対して 15,600 千円、令和 7 年度から令和 11 年度の 5 年間換算で 1,560 千円)縮減するものと試算する。

※今後 50 年間の維持管理費用の総額とは、中長期（策定後 50 年間）における予防保全型管理に係る費用の総額 2,045 百万円を指す。

NO.	橋梁名	上部工構造形式	路線名	所在地	橋長 (m)	幅員 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	次回 点検 年次	判定 区分											対策内容	概算工事費 (千円)	新技術 活用の有無		
												2025 (R7)		2026 (R8)		2027 (R9)		2028 (R10)		2029 (R11)						
												点検	補修	点検	補修	点検	補修	点検	補修	点検	補修					
1	大久保橋	RC橋	町道横山大久保線	大多喜町横山636	10.60	3.40	1960	64	2019	2024	Ⅱ									400		0	無し			
2	矢下橋	PC橋	町道中島線	大多喜町紙敷横山	10.45	5.10	1977	47	2019	2024	Ⅱ									400		0	無し			
3	原橋	RC橋	町道小土呂若宮線	大多喜町小土呂796	2.20	4.80	1969	55	2019	2024	Ⅱ									400		0	無し			
4	時本橋	PC橋	町道小土呂時本太田堀線	大多喜町小土呂801	11.30	6.05	1977	47	2019	2024	Ⅱ									400		0	無し			
5	平作橋	PC橋	町道高谷東前堀田線	大多喜町大多喜1871	13.50	4.80	1977	47	2019	2024	Ⅱ									400		0	無し			
6	桐木橋	鋼橋	町道増田小土呂線	大多喜町下大多喜384	16.05	7.70	1994	30	2020	2025	Ⅱ	400				設計費	2,760				塗装工 他	9,200	11,960	有り		
7	上湯橋	鋼橋	町道船子峯之越線	大多喜町下大多喜166	75.00	10.75	2007	17	2023	2028	Ⅱ								400				0	有り		
8	沢田橋	PC橋	町道田代中野線	大多喜町下大多喜3756	24.80	6.20	2005	19	2023	2028	I								400				0	有り		
9	清水橋	鋼橋	町道増田小土呂線	大多喜町下大多喜3679	15.67	4.60	1965	59	2019	2024	Ⅱ									400		0	有り			
10	船子跡線橋	鋼橋	町道船子森宮線	大多喜町船子416	11.80	2.00	1969	55	2019	2024	Ⅱ									400		0	無し			
11	船子橋	PC橋	町道船子宮古線	大多喜町船子1047	3.60	3.73	1986	38	2019	2024	Ⅱ									400		0	無し			
12	白山橋	鋼橋	町道紺屋横山線	大多喜町横山222	15.63	5.10	1979	45	2020	2025	Ⅲ	400										0	無し			
13	小原澤橋	鋼橋	町道伊藤線	大多喜町横山1821	6.10	3.40	1960	64	2019	2024	Ⅱ									400		0	無し			
14	久半谷橋	PC橋	町道久半谷線	大多喜町大多喜496	9.80	4.90	2001	23	2019	2024	Ⅱ									400		0	無し			
15	深瀬橋	鋼橋	町道上原西部田線	大多喜町西部田173	71.40	11.00	1993	31	2023	2028	Ⅱ								400			0	無し			
16	川島橋	鋼橋	町道小谷松西部田線	大多喜町西部田247	17.00	3.80	1969	55	2019	2024	Ⅱ						設計費	889		400	塗装工	889	889	無し		
17	井戸川橋	鋼橋	町道中野大多喜線	大多喜町西部田639	16.00	9.40	1991	33	2019	2024	Ⅱ					設計費	2,070				400	6,900	8,970	有り		
18	行徳橋	鋼橋	町道新丁行徳線	大多喜町新丁145	71.96	11.00	1992	32	2023	2028	Ⅱ								400				0	無し		
19	塩瀬橋	鋼橋	町道部田堀之内線	大多喜町部田225	50.25	3.60	1977	47	2023	2028	Ⅲ				鋼板巻立 他	25,000				400			25,000	25,000	無し	
20	八声一号橋	PC橋	町道堀之内八声5号線	大多喜町八声184	9.40	3.60	1977	47	2019	2024	Ⅱ										400		0	無し		
21	中島橋	PC橋	町道堀之内八声4号線	大多喜町八声551	8.40	3.80	1977	47	2019	2024	Ⅱ										400		0	無し		
22	八声二号橋	PC橋	町道堀之内八声3号線	大多喜町八声484	7.30	3.80	1977	47	2019	2024	Ⅱ										400		0	無し		
23	下川橋	鋼橋	町道石神大戸線	大多喜町石神265	56.84	4.72	1971	53	2023	2028	Ⅱ								400				0	有り		
24	平山橋	PC橋	町道東総元停車場線	大多喜町大戸366	7.40	2.02	1969	55	2019	2024	Ⅱ										400		0	無し		
25	大戸橋	PC橋	町道石神大戸線	大多喜町大戸603	7.00	4.50	1964	60	2019	2024	Ⅱ						設計費	82		400			82	400	無し	
26	楽泉寺橋	PC橋	町道大戸楽島半野田線	大多喜町大戸433	7.00	4.51	1978	46	2019	2024	Ⅱ										400		0	無し		
27	大戸跡線橋	鋼橋	町道久我原陸橋線	大多喜町久我原906	24.90	6.00	1974	50	2019	2024	Ⅱ						設計費	290		400			290	400	無し	
28	荒木根橋	鋼橋	町道三育学院線	大多喜町久我原602	69.84	6.00	1975	49	2023	2028	Ⅱ							400	設計費	5,766	設計費	5,766	設計費	5,766	無し	
29	三又大橋	鋼橋	町道三又297号線	大多喜町三又251	68.70	11.00	1974	50	2023	2028	Ⅱ							400	10,402	設計費	1,529		11,931	設計費	11,931	無し
30	不動橋	鋼橋	町道黒原佐野線	大多喜町黒原142	60.00	4.30	1971	53	2023	2028	Ⅱ								400	設計費			0	有り		
31	笛倉橋	鋼橋	町道黒原上野線	大多喜町小内336	40.00	6.30	1976	48	2023	2028	Ⅱ								400	1,037			1,037	1,037	無し	
32	保庭橋	鋼橋	町道保庭線	大多喜町三又1194	54.08	3.70	1972	52	2023	2028	Ⅱ								400				0	有り		
33	滝見橋	RC橋	町道黒原佐野線	大多喜町川畑42	51.20	3.40	1958	66	2020	2025	Ⅱ	撤去	100,000										100,000	100,000	無し	
34	小内橋	PC橋	町道百鉢小内線	大多喜町下大多喜384	30.27	2.40	1977	47	2020	2025	Ⅱ	400											0	無し		
35	百鉢橋	RC橋	町道平塚百鉢線	大多喜町小内135	25.00	3.50	1962	62	2019	2024	Ⅲ										400		0	有り		
36	船塚橋	鋼橋	町道弥喜用字簡原線	大多喜町押沼12	24.34	4.05	1957	67	2020	2025	Ⅱ	400					設計費	903					903	903	無し	
37	押沼橋	PC橋	町道黒原上野線	大多喜町押沼18	13.55	6.10	1974	50	2019	2024	Ⅱ										400		0	有り		
38	堀ノ木橋	鋼橋	町道紙敷弥七谷線	大多喜町紙敷83	13.15	4.05	1977	47	2019	2024	Ⅲ										400		0	無し		
39	紙敷橋	鋼橋	町道中野大多喜線	大多喜町紙敷166	27.89	8.20	1978	46	2023	2028	Ⅱ								400				0	無し		
40	御行橋	RC橋	町道堀切牛久線	大多喜町紙敷1300	9.10	3.60	1962	62	2019	2024	Ⅱ											400		0	有り	
41	松尾橋	鋼橋	町道松尾紙敷線	大多喜町松尾244	40.00	8.00	1981	43	2023	2028	Ⅱ								400				0	無し		
42	平野橋	PC橋	町道板谷上線	大多喜町板谷194	10.16	3.45	1977	47	2019	2024	Ⅱ										400		0	無し		
43	久保橋	PC橋	町道板谷下線	大多喜町堀切133	10.45	3.10	1971	53	2019	2024	Ⅱ										400		0	無し		
44	堀切橋	鋼橋	町道堀切線	大多喜町平沢795	25.50	3.40	1961	63	2020	2025	Ⅲ	400											0	無し		
45	平沢橋	鋼橋	町道黒原上野線	大多喜町平沢1211	53.65	6.10	1970	54	2023	2028	Ⅱ					設計費	4,509		400		塗装工	15,029	19,538	有り		
46	深川橋	鋼橋	町道黒原上野線	大多喜町平沢1607	35.05	6.50	1980																			